

# 第4次地域福祉計画策定に向けた 団体ヒアリング調査

## 調査結果報告書

平成31年3月

# 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

第4次地域福祉計画の策定に当たり、高齢・障害・子育てなどの各分野の団体等が活動を通じて感じている地域の課題や地域活動の取り組みに関する調査を実施し、地域住民との活動の状況のほか、団体等同士の連携、活動上の困りごと、地域の問題、今後の地域福祉の推進に関する意見を把握することを目的としています。

## (2) 調査対象団体

市内で活動している各種ボランティア団体や NPO 法人等を対象に、障害：6、子育て：4、高齢：7、防災：4、その他（事業所）：2、その他（地区社会福祉協議会）：2、その他（更生保護）：2の計27団体。

区分		団体名	活動内容
障害	ボランティア団体	あゆみの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉実践教室</li> <li>美化活動</li> <li>障害者スポーツの推進</li> </ul>
		グリーンピース（刈谷手をつなぐ育成会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉実践教室</li> <li>企業や市民などへ障害理解を広める講座の開催</li> </ul>
		こころのボランティアみなと	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者施設で通所者との作業や調理実習</li> <li>「みんなの居場所みなと」の毎月開催</li> <li>ピアサポートの支援</li> <li>一般向けのこころを元気にする講演、体験会などの開催</li> <li>自殺予防啓発活動や精神障害に関するイベントの手伝い</li> </ul>
	NPO 法人	NPO 法人くるくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労移行支援、就労継続支援 B 型、生活介護、居宅介護、同行援護、行動援護、移動支援、グループホーム</li> <li>放課後等デイサービス</li> <li>障害者就業・生活支援センター</li> </ul>
		NPO 法人かきつばたフレンズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労継続支援 B 型事業所かきつばたワークスの運営を通じた精神障害者への支援や地域への啓発</li> </ul>
	障害者支援センター	基幹相談支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害に関する相談を受ける最初の窓口</li> <li>当事者支援</li> <li>関係機関との連携</li> <li>相談支援事業所への指導、助言</li> <li>自立支援協議会の部会運営</li> </ul>

区分		団体名	活動内容
子育て	ボランティア団体	日向広場	・子育て支援のための室内公園の開催
		ママスタートクラブ刈谷支部	・乳幼児と一緒に参加できる講座の開催 (リトミック、英語のお歌、親子コンサート、手芸など)
		リトルハウス「小さなお庭」	・よさみプレーパーク (すべての人が参加自由な子どもを中心とした遊び場) の開催 (月1回程度、乳幼児版は毎週木曜日)
	NPO 法人	NPO 法人子育て・子育て NPO スコップ	・子育て広場、子育て支援センターの運営 ・小学生の週末の居場所事業 ・中高生の居場所事業 ・パパの子育て応援プロジェクト ・スコップ・コップ事業
高齢	地域包括支援センター	刈谷富士松地域包括支援センター	・高齢者やその家族が抱える様々な相談を受け付ける「身近な相談窓口」(富士松：特別養護老人ホーム洲原ほ一む、中部：刈谷豊田総合病院、依佐美：介護老人保健施設かりや)
		刈谷中部地域包括支援センター	
		刈谷依佐美地域包括支援センター	
	ボランティア団体	一ツ木わかば会	・地域の高齢者や障害を持つ人への奉仕や子どもたちとの交流、子育て支援 ・福祉行事の積極的な参加を通じたボランティアとしての資質の向上とネットワークの充実による地域貢献
		熊なでしこ会	・年2回のなごやか交流会、年8回のなごやかサロン ・地域行事への参加(7月の万燈祭、11月の文化展・資源回収作業等)
		小垣江ボランティアかもめ	・高齢者を招いた茶話会(年4回)の開催 ・小垣江小学校の手芸クラブ ・社協・ボラ連行事の参加協力 ・日高小学校、小垣江東小学校での体験教室 ・なごやか交流会の開催
	NPO 法人	NPO 法人我がまちの縁側	・駄菓子屋併設地域密着型デイサービス ・地域住民交流スペース事業 ・障害児者支援事業 ・子育て世代交流事業 ・まちづくりサポート事業

区分		団体名	活動内容
防災	ボランティア団体	刈谷防災ボランティア	・災害に強い「まちづくり」に向けて、防災訓練や地区活動など月1回の定例会、イベントの参加、企画
	自主防災会	一ツ木地区自主防災会	・防災に関する知識の普及、啓発 ・地域の災害危険の把握 ・防災訓練の実施
		刈谷中部地区自主防災会	
		高須地区自主防災会	
その他	事業所	豊田自動織機はあとふる倶楽部	・福祉施設を招待するイベントの企画、運用 ・社内イベントのボランティア ・清掃活動
		デンソーグループ ハートフルクラブ	・地域のボランティア情報に参加 ・自ら社会課題にチームで企画、運営 ・NPO 法人との協働
	地区社会福祉協議会	北部地区社会福祉協議会ハートの会	・北部地区で活動するボランティア団体を中心とした地域課題の話し合いと解決に向けた取り組み
		南部地区社会福祉協議会	・南部地区社協を構成する5つの福祉委員会の情報共有、各福祉委員会の活動に関する課題解決に向けた話し合い、地域行事での広報啓発活動
	更生保護	刈谷保護区保護司会 刈谷支部	・犯罪のない明るい地域社会づくりのための「社会を明るくする運動」をはじめとした啓発活動 ・各地区で地域住民との懇談会
		刈谷市更生保護女性会	・明るい安全な地域づくりの啓発活動

### (3) 調査方法

郵送による調査シートの配付、回収を行いました。また、ボランティア団体を中心に面談による聞き取り調査（11 団体）を実施しました。

### (4) 調査期間

郵送による調査：平成 30 年 10 月 24 日（水）～11 月 16 日（金）

調査シートに基づく聞き取り調査：平成 30 年 11 月 19 日（月）～12 月 18 日（火）

### (5) 調査項目

#### ○調査票の設問

#### A 団体のことについて

（会員数、主な活動地域、活動開始のきっかけ、主な活動内容、活動年数 等）

#### B 団体の活動について

（地域と一緒にやっていること、団体等との連携状況、今後の各種団体等との連携意向、活動上困っていること、市民が活動に気軽に参加できるための取組 等）

#### C 活動を通して見える地域の状況について

（活動を通じて見聞きしている日常の困りごと・地域の問題、地域福祉の推進に必要なこと）

#### D 今後の活動について

（市や社会福祉協議会に望むこと、行政との協働で取り組めること、地域福祉に関する自由回答）

## 2. 調査結果

注) \*がついている意見は聞き取りによる意見

### (1) 地域での活動状況について

#### ■地域で行っている取組

**問1 貴団体の活動の中で、地域の方と一緒にいることや、地域に向けて行っていることはありますか。(記述回答)**

地元の祭りへの参加、サロン活動の開催、などの「地域でのイベントへの参加・イベントの主催」、主催するイベントに協力していただく、市民へ衣料回収を呼びかけ協力していただく、などの「地域の方から支援を受ける活動」、福祉実践教室や啓発活動といった「福祉教育・啓発」に関する意見がみられます。

#### ・地域でのイベントへの参加・イベントの主催

区分	活動内容
障害	美化活動 *市内のバリアフリーのチェック
	・地元のお祭り、イベントに参加 ・公園の清掃
	企画、運営をボランティアの方たちと一緒にいき、フリーマーケットを開催
子育て	会員の有志が町内の夏祭りに参加し、みたらしだんごの販売
	子育て中の母と子のための音楽、英語などの交流活動
	・事業が全ての地域の方へひらかれている ・参加者の希望によりイベント（コンサートや物品交換）を開催
	・子育て支援団体の依頼を受けて、その場へ出向き活動 ・（現在はしていないが）依頼があれば、子育てにおける相談や支援員の養成、子育ての現状報告や子育てにおける講師
高齢	サロン、認知症カフェ、予防教室、地域ケア会議
	サロンや介護予防教室の開催・運営
	地域ケア会議（高須地区、小垣江地区、野田地区、半城土地区、東刈谷地区）、サロンへの参加、地域ケア個別会議、認知症カフェへの協力、いきいきクラブ一日研修
	・独り暮らしの方への支援（なごやか交流会・サロン） ・子育て支援 ・介護老人保健施設ハビリスーツ木ボランティア ・（一ツ木福祉センター主催）もちつき大会、生き生きフェスタボランティア ・地区防災訓練 ・一ツ木多文化共生コミュニティガーデン「ワールドデン」

区分	活動内容
高齢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民館の除草作業</li> <li>・資源回収作業</li> <li>・万燈祭りでの休憩所接待</li> <li>・文化展での豚汁接待</li> <li>・一人暮らし月1回楽しめる場所づくり</li> <li>*病院の看護師による呼吸の体操の指導</li> <li>*大府市の紙芝居をする人がバルーンアート、笑いヨガができる人を紹介</li> <li>*夏休みに子どもを対象に市民館で塾を開き、防災会給食班からカレーの提供</li> </ul>
	<p>高齢者との茶話会（年4回）</p> <p>*茶話会への参加呼びかけは、近所に案内状を持っていく方法で実施（民生委員の安否確認に合わせて誘うこともあり）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回中部市民館でのふれあいまつりの企画・運営に参加し、当日は出店イベントを担当</li> <li>・年4回地域住民交流を目的に縁市を開催、(北部有志の方々と)企画・運営</li> <li>・子育てグループと交流会を持ち、他世代交流の場を提供月1回</li> <li>・各月、介護の集いを開催</li> </ul>
防災	<p>防災講話、研修、防災ボランティアとの交流会、防災訓練</p>
	<p>防災訓練、防災に係る講習会、ブロック塀安全点検活動、防災アンケート</p>
	<p>防災に対する啓蒙活動、避難訓練の実施</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民対象の防災活動</li> <li>・自主防災会総会</li> <li>・自治会班長防災講演会</li> <li>・総合防災訓練 等</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万燈祭を熊地区と合同で実施</li> <li>・熊野神社の例大祭等もボランティア参加</li> <li>・2月末頃に、障害者施設の方を招待して、ふれあいフェスタ等を企画、実施</li> </ul>
	<p>*（所属している団体によって行っていることが異なる）体力測定</p> <p>*イベント参加への呼びかけは、以前は地区長名義のチラシを月1回→今は口コミで実施</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各福祉委員会で、自治会、公民館、民生委員・児童委員、いきいきクラブ、婦人会、子ども会、ボランティア等地域の方が所属して活動を実施</li> <li>・各福祉委員会は、地域の課題に合わせて、それぞれに高齢者や子どもに向けたサロン活動、見守り活動、地域の相談所、福祉に関する勉強会、福祉マップづくり等</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会を明るくする運動</li> <li>・各地区で地域住民との懇談会</li> </ul> <p>市内3ブロック（北部、中部、南部）で年一回地域のつどいに参加、主催で実施</p>

・地域の方から支援を受ける活動

区分	活動内容
障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設支援：施設の活動を知っていただき、イベントへの参加や手伝いを呼びかけ、手芸品や不要の日用品・布などを寄贈</li> <li>・居場所支援：傾聴ボランティア、特技のある方を講師としての参加や地域の方に会場設営や話し相手として参加</li> <li>・こころを元気にする講演、体験会でアロマセラピー、笑いヨガ当事者の講演会などを開催</li> <li>*講演会の講師は、知り合いを通じて依頼</li> <li>*引きこもりの人で家から出てくることを目標にして参加している人あり</li> </ul>
	<p>刈谷市自立支援協議会の部会運営で地域の団体や施設関係者からの参加を得て、地域にある課題を抽出</p>
その他	<p>衣料回収活動（アピタ刈谷店とトヨタグループと協働し、一般市民から衣料を回収、NPOへ寄贈）</p>

・福祉教育・啓発

区分	活動内容
障害	<p>刈谷市内の小中学校の福祉実践教室や企業や市民への啓発活動</p>



## (2) 団体同士の連携について

### ■連携先と連携内容

**問2 貴団体では、地域での活動等の際に、どのような団体等と連携して活動されていますか。(複数回答)〈連携した活動がある団体は〉具体的な内容を教えてください。**

連携している団体は、「社会福祉協議会」が最も多く、次いで「自治会」、「地区社会福祉協議会」及び「民生委員・児童委員」となっています。地域福祉の主な担い手である団体・機関との連携が多くみられるほか、学校や福祉施設、警察・消防、弁護士・司法書士との連携を行っている団体もみられます。

連携している内容としては、勉強会や広報活動、人材の紹介、情報交換、専門的な支援、イベントの共催などとなっており、活動の周知、活動の質向上、担い手の確保のために取り組んでいる状況がうかがえます。

#### ・現在連携している団体等

団体等	件数	団体等	件数
社会福祉協議会	19	高齢者施設	8
自治会	16	医療施設	7
地区社会福祉協議会	14	子ども会	6
民生委員・児童委員	14	警察・消防	6
ボランティア団体	13	女性団体	5
公民館	13	商工会	5
NPO法人	11	保育所・幼稚園	5
企業	11	子育て支援センター	5
自主防災組織	11	福祉委員会	4
いきいきクラブ(老人クラブ)	10	P T A	1
障害者施設	10	弁護士・司法書士	1
小・中学校、高校、大学	10	特になし	1
地域包括支援センター	9	その他	4

#### ※その他の回答

- ・ボランティア連絡協議会、刈谷市民ボランティア活動センター【高齢】
- ・商店街【高齢】
- ・わかば会(高齢者支援)、パトロール隊、赤十字奉仕団員、保健推進員【防災】
- ・保護司会【その他】

・連携している活動の内容

区分	連携組織・団体及び連携内容
障害	<p>【子ども会】 【企業】 【障害者施設】 スポーツ 【ボランティア団体】 美化活動 【NPO 法人】 イベント 【商工会】 スポーツ・美化活動 【社会福祉協議会】 【小・中学校、高校、大学】 福祉 【警察・消防】 防災</p>
	<p>【医療施設】 勉強会の講師（刈谷病院） 【社会福祉協議会】 勉強会を一緒に考えて開催、福祉実践教室 【障害者施設】 【小・中学校、高校、大学】 啓蒙活動</p>
	<p>【ボランティア団体】 居場所での傾聴、ホームページ作成 【NPO 法人】 【企業】 講演体験会開催時の広報や手伝い 【障害者施設】 施設での作業の手伝いや調理実習など 【医療施設】 居場所で使う医療用リーフレットの提供・居場所の広報 【社会福祉協議会】 【地区社会福祉協議会】 【民生委員・児童委員】 相談者の居場所への紹介 * 県の保健所と連携して自殺対策の啓発物を配布</p>
	<p>【企業】 就業体験 【商工会】 お祭りに参加 【高齢者施設】 清掃の実習 【障害者施設】 グループホームでの入所者の様子の共有 【医療施設】 体験会、説明会の企画 【社会福祉協議会】 担当会議に参加 【小・中学校、高校、大学】 職場体験</p>
	<p>【自治会】 紙資源回収所の設営による利便性の向上 【ボランティア団体】 【NPO 法人】 刈谷市ボランティア連絡協議会に所属 【企業】 主に社会貢献の部署の方に様々な面で支援など その他【障害者施設】 【医療施設】 との連携</p>
	<p>【ボランティア団体】 【NPO 法人】 【企業】 【商工会】 【障害者施設】 【医療施設】 【社会福祉協議会】 【地区社会福祉協議会】 【保育所・幼稚園】 【小・中学校、高校、大学】 【地域包括支援センター】 【子育て支援センター】 【民生委員・児童委員】 【警察・消防】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部会の中の部会員</li> <li>・ 各部会のイベントでの広報活動の協力</li> <li>・ 相談業務に必要な関連機関からの協力</li> </ul>
子育て	<p>【自治会】 【いきいきクラブ】 【社会福祉協議会】 【地区社会福祉協議会】 【公民館】 当団体での行事（夏まつり）において駐車場のテント張り</p>
	<p>【自治会】 回覧板への掲示 【子育て支援センター】 支援が必要だと思われる親子への紹介</p>
	<p>【NPO 法人】 刈谷市外の NPO 法人と同じ企画で運営、活動、情報交換 【企業】 子どもの健全育成の事業の協働、情報交換 【保育所・幼稚園】 子育てコンシェルジュ事業における情報提供、情報共有 【子育て支援センター】 委託事業として活動、中央子育て支援センターとの協働</p>

区分	連携組織・団体及び連携内容
高齢	<p>【自治会】【いきいきクラブ】【ボランティア団体】【高齢者施設】【地区社会福祉協議会】地域交流で顔のみえる関係づくり、個別では検討できないことを地域で考える</p> <p>【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【地区社会福祉協議会】【高齢者施設】【民生委員・児童委員】サロンやカフェ（認知症カフェ）立ち上げや活動の広報や活動支援の協力</p> <p>【いきいきクラブ】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【ボランティア団体】いきいきクラブ、サロン、なごやか交流会での講師や介護予防教室の実施</p>
	<p>【自治会】【いきいきクラブ】【高齢者施設】【地区社会福祉協議会】【公民館】介護予防教室の開催・協力、地域行事参加協力</p> <p>【社会福祉協議会】なごやか交流会への協力</p> <p>【企業】【警察・消防】交通安全や消費者被害防止等の啓発、法律的相続その他【ボランティア団体】【NPO法人】【社会福祉協議会】【民生委員・児童委員】【弁護士・司法書士】との連携</p>
	<p>【自治会】【いきいきクラブ】【ボランティア団体】【NPO法人】【企業】【商工会】【高齢者施設】【医療施設】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【福祉委員会】【公民館】【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】地域ケア会議への参加</p> <p>【いきいきクラブ】いきいきクラブ一日研修</p> <p>【民生委員・児童委員】実態調査での気になる方の相談対応</p>
	<p>【自治会】【公民館】総会、なごやか交流会、町内運動会</p> <p>【高齢者施設】老健ハピリスーツ木ボランティア活動</p> <p>【社会福祉協議会】委託事業として独り暮らし高齢者のつどい「なごやか交流会・サロン」の企画・運営</p> <p>【地区社会福祉協議会】研修会に参加、高齢者サロン「ふじの会」「クローバーの会」、共生型サロン「なかよし会」の活動</p> <p>【地域包括支援センター】なごやか交流会・サロンで独り暮らしの方へ案内状配布と当日ボランティア</p> <p>【自主防災組織】地区防災訓練や研修へ参加</p> <p>その他【民生委員・児童委員】との連携</p>
	<p>【自治会】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【公民館】【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】なごやか交流会・サロン</p> <p>【自治会】【企業】【公民館】万燈祭</p> <p>【自治会】【公民館】文化展</p> <p>【自治会】【公民館】資源回収</p> <p>その他【自主防災組織】との連携</p>
	<p>【自治会】【公民館】指導・支援、補助金支給を受ける</p> <p>【ボランティア団体】【その他（ボランティア連絡協議会、刈谷市民ボランティア活動センター）】茶話会の講師、研修会へ参加</p> <p>【高齢者施設】高齢者施設に毎月訪問し、話し相手や工作等の手伝い</p> <p>【社会福祉協議会】【その他（ボランティア連絡協議会、刈谷市民ボランティア活動センター）】相談・指導・支援を受ける</p> <p>【地区社会福祉協議会】【福祉委員会】委員会に加入</p> <p>【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】茶話会の講師</p> <p>【民生委員・児童委員】なごやか交流会での講習</p> <p>【小・中学校、高校、大学】小学校の手芸クラブ担当が体験教室に参加、指導</p>

区分	連携組織・団体及び連携内容
高齢	<p>【子ども会】万燈まつりの練習後のおやつ提供とくつろぎの場の提供  【ボランティア団体】【NPO 法人】【障害者施設】ご縁市への（出店）参加  【公民館】ご縁市の後援で、机、イス、テントの貸し出し  【地域包括支援センター】隔月、介護のつどいの相談役として参画  【自主防災組織】組織へ事務局員として、企画や訓練の運営に参加  その他【いきいきクラブ】【自主防災組織】【その他（商店街）】との連携</p>
防災	<p>【自治会】【いきいきクラブ】【ボランティア団体】【NPO 法人】【障害者施設】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【小・中学校、高校、大学】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】</p> <p>【自治会】【女性団体】【小・中学校、高校、大学】【公民館】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】【警察・消防】【その他（わかば会（高齢者支援）、パトロール隊、日赤奉仕団員、保健相談員）】  防災訓練のスタッフとして参加</p> <p>【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【子ども会】【公民館】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】【警察・消防】</p> <p>【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【公民館】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】自主防災会会員  【自治会】【いきいきクラブ】【子ども会】防災訓練・運動会等の消化器取り扱い訓練  【高齢者施設】【地区社会福祉協議会】【福祉委員会】【地域包括支援センター】【民生委員・児童委員】災害弱者（要配慮者）の避難についての検討</p>
その他	<p>【自治会】【子ども会】【ボランティア団体】【NPO 法人】【高齢者施設】【障害者施設】【医療施設】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【保育所・幼稚園】【小・中学校、高校、大学】【公民館】  ・ふれあいフェスタ等、施設通所者約 200 名を招待するイベント等に社内、社外にボランティアを募集、約 60 名のボランティアで運営（案内、誘導、ステージ補助等）</p> <p>【NPO 法人】車座集会の講師  【企業】アピタ刈谷店と協働  その他【ボランティア団体】【障害者施設】【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【小・中学校、高校、大学】【子育て支援センター】と連携</p> <p>【社会福祉協議会】【地区社会福祉協議会】【地域包括支援センター】【子育て支援センター】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】</p> <p>【自治会】【いきいきクラブ】【女性団体】【子ども会】【ボランティア団体】【福祉委員会】【公民館】【民生委員・児童委員】【自主防災組織】 問 1 で記載した活動  【社会福祉協議会】活動の支援（活動の提案や補助、会議の調整、活動助成金等）  【地域包括支援センター】活動の情報共有</p>

区分	連携組織・団体及び連携内容
その他	<p>【自治会】【女性団体】【社会福祉協議会】【保育所・幼稚園】【小・中学校、高校、大学】【PTA】社会を明るくする運動でのつどい、社会貢献活動、ひよこ集会（更生保護女性会の援助）</p>
	<p>【商工会】【社会福祉協議会】【保育所・幼稚園】【子育て支援センター】【警察・消防】【その他（保護司会）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会、警察と詐欺・万引きなどの啓発活動</li> <li>・幼稚園での保護者と膝を交えた子育て地域問題などの意見交換会</li> </ul>

## ■他団体等と交流や協力ができている理由

### 問3 問2の回答について、なぜ交流や協力ができていると思いますか。(記述回答)

地域とともに成長することが目的である、社会的なニーズがあるから、などの「当初からのつながりがあるから」、他の団体からの依頼・要望、事業の方向性が一致する、などの「お互いのニーズが一致するから」、活動を認めてもらえている、地区の理解がある、などの「これまでの活動実績があるから」、普段から他団体等に相談している、日頃から助け合っ活動している、などの「連携への意識を持っているから」などといった意見がみられます。

#### ・当初からのつながりがあるから

区分	意見
障害	活動内容からして、交流・協力が必然の流れになっているから。
高齢	設立当初より、地域とともに成長する団体としての目的があり、地縁関係との繋がりを意識した活動を行ってきたから。
防災	社会的なニーズがあるから。
その他	地域の団体間の連携、交流を図ることを目的の1つとして立ち上がった組織だから。
	地域に保護司がいて自治会と同調している。

#### ・お互いのニーズが一致するから

区分	意見
障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会からの依頼（小中学校の教育活動の一環として）。</li> <li>・会員（知的障害児・者の保護者）からの要望（ニーズが多い）。</li> </ul>
子育て	お互いのニーズ。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈谷市の委託を受けており、信頼されていること。</li> <li>・事業の目的が同じではあるが、方向性の一致を重視していること。</li> <li>・企業等との連携は、お互いの役割分担の確認やウィンウィンの関係であることを大切にしていること。</li> <li>・守秘義務等、約束事を守ること。</li> </ul>
その他	お互いのニーズを確認し、マッチングできる場があったから。
	園の方で、保護者の方の参加が多く、この会を知らないで卒園される方もあり、もう少し回数を増やしてほしいと話が来ているから。

・これまでの活動実績があるから

区分	意見
高齢	地域ボランティアとして地道な活動を続けてきたことを認めていただけたからとありがたく思う。
	地域ケア会議で地域の意見が反映され、地域づくりができています。サロン、認知症カフェ、予防教室に人が集まるようになっていて、地域づくりのための研修会の開催を専門職や一般に向けて行うようにしている。地域包括支援センターがどのような機関なのか認知されてきているため。
障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神の分野の活動のボランティア団体が少ないため、ご本人が精神のことに関心がある場合や、身近な方のことでご相談がある場合など、当会へ気軽に声かけができる。</li> <li>・社協・市民ボランティアセンターへ登録しているため、横のつながりができる。</li> <li>・会員一人ひとりの地道な活動が、新たなつながりを生んでいる。</li> </ul>
子育て	*地区の理解があるから。

・連携への意識を持っているから

区分	意見
障害	質の高いサービス提供のため、必然的に関係機関との交流ができています。
高齢	地域からの要望、こちらからの働きかけ。
	顔の見える関係づくりを構築している。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体と連絡を密にしているから。</li> <li>・民生委員・児童委員もわかば会の役員であるため、同じ目的を持った活動を通して繋がる機会が多いから。</li> <li>・当会が、地道な活動を通して地域に根付き認めていただけるようになったから（今までの会員の働きが大きい）。一ツ木福祉センター、市民館を優先的に利用させていただいている。</li> </ul>
	*社会福祉協議会に相談できているから。
防災	各団体の役員等と日頃から機会をとらえては接触し、地区防災についての思いや考え方を活かしている。あるいは、意見交換している。（定例会議にもしばしば、あるいは時折出席し、防災訓練等について話している。）
	地域への活動を協働して行っているから。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の活動に班長はじめ協力的である。</li> <li>・地区民の防災意識が高い。</li> </ul>
その他	地域や施設等の人と日頃から助け合っているから。
	*社会福祉協議会からの助言を受けられるから。

・その他

区分	意見
障害	刈谷市が福祉に関心があるから。
	事業所の中に目を向けるだけでなく、外にも向け、また実際に出向くことで関係ができ、それを活動に活かさないか意識しているため。

■今後連携をとりたい組織や団体の有無

問4 今後活動を行う中で連携をとりたい組織や団体はありますか。(単数回答)

「ある」は20団体、「特にない」は7団体となっており、他の組織や団体との連携のニーズは高い状況です。

選択肢	回答団体
ある	障害：5団体 子育て：3団体 高齢：6団体 防災：3団体 その他：3団体
特にない	障害、子育て、高齢、防災：各1団体 その他：3団体



## ■連携したい組織や団体

<問4で「ある」と回答した団体にお伺いしています>

### 問5 これから連携をしたい組織や団体はどこですか。(複数回答)

これから連携したい団体は、「小・中学校、高校、大学」が最も多く、次いで「障害者施設」及び「医療施設」「社会福祉協議会」「地区社会福祉協議会」「民生委員・児童委員」となっています。学校や医療、福祉関連団体との連携を希望する団体が多くみられています。

#### ・これから連携したい団体等

団体等	件数	団体等	件数
小・中学校、高校、大学	11	いきいきクラブ（老人クラブ）	4
障害者施設	8	企業	4
医療施設	8	警察・消防	4
社会福祉協議会	8	子ども会	3
地区社会福祉協議会	8	NPO法人	3
民生委員・児童委員	8	福祉委員会	3
自治会	7	保育所・幼稚園	3
ボランティア団体	6	公民館	3
子育て支援センター	6	P T A	2
自主防災組織	6	弁護士・司法書士	2
女性団体	5	商工会	1
高齢者施設	5	特になし	0
地域包括支援センター	5	その他	1

#### ※その他の回答

- ・公共交通機関、刈谷市バス【障害】

■連携したい理由や活動内容

問6 問5の回答について、なぜその組織や団体と連携をしたいと思いますか。選択した番号と連携したい内容を記入してください。(記述回答)

活動を知ってもらいたい、災害時要支援者の対応を検討したい、などの「支援のさらなる充実」、地域で支え合える関係にしたい、様々な視点からの協力による課題対応をしたい、などの「幅を広げた活動展開」、広く障害への理解を広めたい、などの「福祉教育」、現在取り組んでいるテーマに取り組みたいなどの「活動の専門性の向上」に関する意見があがっています。

・支援のさらなる充実

区分	連携したい組織や団体	連携の内容
障害	企業、社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、小・中学校、高校、大学、子育て支援センター、民生委員・児童委員	【企業】雇用先・実習先 【小・中学校、高校、大学】ご利用される見込みのある方との繋がり 【社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、子育て支援センター、民生委員・児童委員】利用者・ご家族に対するサポートを充実させるための連携先
子育て	自治会、いきいきクラブ、女性団体、子ども会、ボランティア団体、NPO法人、高齢者施設、障害者施設、医療施設、社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、保育所・幼稚園、子育て支援センター	まだまだワンオペ育児の愛知県で、様々な世代や色々な立場の方たちとの交流をすることによって、母親の育児の精神的な負担などを軽くしたい。 *他の子育てサークルとのつながりを持たせたい。また、他の支部では高齢者との交流をしているところもあり、活動を広げていきたい。
	地区社会福祉協議会	地区社会福祉協議会は、地域が基盤なので、子どもから大人まで継続的で身近な支援ができると考えられるから。
	民生委員・児童委員	困難を抱えている子どもの家庭のつなぎ先 *活動の中で、生活上の困難を抱えた子どもを把握し、民生委員・児童委員につなげられるような取組を模索したい。
高齢	商工会、障害者施設、医療施設、警察・消防	高齢者の居場所づくりに関わってない組織と連携を取りたい。
	自治会、いきいきクラブ、ボランティア団体、高齢者施設、障害者施設、医療施設、社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、公民館、地域包括支援センター、民生委員・児童委員、自主防災組織	後期高齢者社会を楽しく過ごすこと。

高齢	子ども会、小・中学校、高校、大学	<p>【子ども会】茶話会に子ども会のお子さんを招き、高齢者の方々とふれあい。</p> <p>【小・中学校、高校、大学】楽しい交流会が開催されると良い。（これまで3回ほど経験し楽しんでいただいた。夏休みや春休みでない機会をつくるのは難しい。）</p> <p>【小・中学校、高校、大学】大学生のサークル活動をしている人にミニ演奏を依頼する。</p>
	女性団体、ボランティア団体、企業、小・中学校、高校、大学	<p>【女性団体、小・中学校、高校、大学】多世代交流ができる、モノづくりやイベントがあるとよい。</p> <p>【企業】活躍していただく対象者（高齢者、子ども）へのPRやプログラム企画を共に進めたい。</p>
防災	自治会、女性団体、子ども会、ボランティア団体、NPO法人、高齢者施設、障害者施設、社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、福祉委員会、小・中学校、高校、大学、PTA、地域包括支援センター、民生委員・児童委員、自主防災組織、警察・消防	<p>防災には“共助”が必要で、日頃の協働のネットワーク化、顔の見える関係、地域のつながりが求められているため。</p> <p>*ICTに詳しい団体と連携して情報収集や発信を行いたい。SNSや動画を用いた訓練なども必要。</p>
	社会福祉協議会、地区社会福祉協議会	災害時の要支援者等への対応方法について検討したい。
	小・中学校、高校、大学	地区内の小・中学校・高校・大学生は小学生（子ども会）を除いて接点がない。災害時に“一番力”となり期待できるのは、中学生・高校生・大学生と考えている。中・高・大学生の組織化できれば災害時大きな戦力となり期待できる。
その他	医療施設、社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、地域包括支援センター、子育て支援センター、民生委員・児童委員、自主防災組織	<p>*現在連携している団体等と今後も連携したい。</p> <p>*各団体の活動を見ることで、やってみようと思える。</p>
	企業、高齢者施設、障害者施設、医療施設、保育所・幼稚園、小・中学校、高校、大学、子育て支援センター	どれも社会資源の1つとして地域の中に存在する組織や団体なので、今後福祉委員会の活動が進み、見つける課題や解決方法の幅が広がったときに、連携を図る必要が出てくると予想されるから。
	自治会、小・中学校、高校、大学	健全な子どもたち育成で情報共有して犯罪防止に力を入れたい。

・幅を広げた活動展開

区分	連携したい組織や団体	連携の内容
障害	自主防災組織	援助を進めたい。 *防災訓練を行いたい。障害のある人は地区の中に点在するので、訓練をしておきたい。
	自治会、ボランティア団体、小・中学校、高校、大学、民生委員・児童委員、自主防災組織	【小・中学校、高校、大学、民生委員・児童委員】精神障がいへの理解へつなげるとともに、地域で支える、支え合える関係につなげていきたい。 【自主防災組織】事業所で被災した際の協力などをしていきたい。
高齢	自治会、いきいきクラブ、女性団体、ボランティア団体、NPO法人、企業、高齢者施設、障害者施設、医療施設、社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、福祉委員会、小・中学校、高校、大学、公民館、地域包括支援センター、子育て支援センター、民生委員・児童委員、警察・消防	高齢者の居場所づくり。地域の様々な課題に対応するため、様々な視点からの協力が必要。
	障害者施設、小・中学校、高校、大学	・共生社会、地域包括ケアシステムの構築という観点から、包括として高齢者への対応のみでなく、より幅広い世代の方々との連携が必要になってくると思われる。 ・学校教育にも共生社会という言葉が出てきており、地域福祉を現実的に広めていく良いタイミングではないか？

・福祉教育

区分	連携したい組織や団体	連携の内容
障害	障害者施設、医療施設、社会福祉協議会、保育所・幼稚園、小・中学校、高校、大学PTA、公民館、地域包括支援センター、子育て支援センター、民生委員・児童委員、警察・消防、弁護士・司法書士、その他	【障害者施設、医療施設、社会福祉協議会、小・中学校、高校、大学、PTA、地域包括支援センター、子育て支援センター、民生委員・児童委員】知的障害児・者に関係している団体と連携していきたい。保護者や支援者の方々にも知識を広めていきたい。 【警察・消防、弁護士、司法書士、その他】知的障害児への理解を深め、支援の方法・意思疎通のポイントなど確認してほしい。

・活動の専門性の向上

区分	連携したい組織や団体	連携の内容
障害	自治会、いきいきクラブ、女性団体、医療施設、福祉委員会、自主防災組織、弁護士・司法書士	<p>【自治会、いきいきクラブ、女性団体、福祉委員会】居場所の存在を知っていただき、周りに参加をすすめたい方があれば、居場所を教えてください。</p> <p>【医療施設】医師会。専門の医師を講師として研修会（一般の方、会員向け）を開きたい。（自主防災組織、現在支援しているピアサポートの活動のテーマが防災のため）</p> <p>【弁護士・司法書士】成年後見などの身寄りがいなくなった後など、活用できる制度を教えてください。</p>

■他の組織・団体と連携しようとするうえで困っていること

問7 他の組織・団体と連携しようとするうえで困っていることがあれば教えてください。(記述回答)

連携の窓口が分からない、企業との接点がない、などの「連携の進め方の問題」、顔の見える関係を築く必要性、などの「相互理解の不足」、資金や活動の進め方、などの「活動上の問題」に関する意見がみられます。

・連携の進め方の問題

区分	困っていること
障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の会なので、専門性に欠ける点がある。</li> <li>・具体的に連携するための窓口がどこか分からない。</li> </ul>
子育て	結びつきが少ない、交流の場に参加する機会が少ない。
高齢	どのようにきっかけづくりをしたらよいか？ 商工会と関わることで視野が広がるのではないかと思う。
	企業などの接点が探せない。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者施設や支援相談員と恒常的に連携していく機会がない。</li> <li>・老年世代の地域づくり意識を高めるための手法が難しい。</li> </ul> →障害のある人が65歳に達する前から連携が必要。
	目的を共有する場と相談する場。 ＊今は社会福祉協議会に相談しているが、地区内で解決できる場があると良い。
	日程を調整するのが難しい。
	連携事業先のキーパーソン・窓口となる人を探すことに時間がかかる。
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より実践的な活動の場の情報不足。それをコーディネートする、できる人材不足。</li> <li>・自主企画提案能力、窓口、仕組み、受け皿、受援力の不足など。</li> </ul>
その他	連携・協働のきっかけづくりをどこでどんな話でつながれるか？

・相互理解の不足

区分	困っていること
障害	相互理解が不足している。
	教育・福祉・障害のある人と地域の人の間に見えない壁を感じる。
	顔の見える関係となるうえで、お会いする場面が増えていくとお願いしやすくなっていくように思う。

・活動上の問題

区分	困っていること
障害	医師会については、敷居が高いのと謝礼が高額で依頼し辛い（研修会への講師として）。
子育て	以前、子ども会・JCなどとイベントしたこともあるが、どうしても参加者がお客さんになってしまいがち。「やってあげる」イベントになりがち。

■活動上の困っていること

**問8 貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。（複数回答）**

活動上の困っていることは、「新しいメンバーが入らない」が最も多く、次いで「後継者がいない」「活動のマンネリ化」及び「支援を必要とする人の情報が得にくい」となっています。活動の担い手の問題に加え、活動内容に関して困っていることがある現状がうかがえます。

このほか、団体での移動の困難、定例会でのメンバーの固定化、活動の周知を図りたいが手続きが煩雑、などといった意見があがっています。

選択肢	件数	選択肢	件数
新しいメンバーが入らない	12	人々のニーズに合った活動ができていない	4
後継者がいない	10	他の団体と交流する機会が乏しい	4
活動のマンネリ化	7	活動の場所（拠点）の確保が難しい	3
支援を必要とする人の情報が得にくい	7	特に困ったことはない	2
市民に情報発信する場や機会が乏しい	5	その他	7
活動資金が足りない	5		

※その他の回答

- ・団体での移動【障害】
- ・活動へ助言をいただく専門のアドバイザー【障害】
- ・自治体によって放課後デイサービスの現場への理解や手続き等のやり方が違い、それぞれに合わせた対応をするのが大変。【障害】
- ・子育て、仕事と、活動時間の確保が難しい。【子育て】
- ・活動を主体的に関わってくれる人がいない。【高齢】
- ・高齢者数増加に対応が追い付かないことがある。職員が少ない。【高齢】
- ・構成員が各自の地域活動で忙しく、活動の検討や振り返りをする時間を十分に取れていない。【その他】

## ○聞き取り結果より

- \* 知的障害を持つ子が高校を出ると障害者団体に入る傾向があり、小学生のお母さんがメンバーに入ることがない。小・中学校で話をして会員を募集している。【障害】
- \* 今まで市バスを借りて団体での移動ができたが、今年度からバスを借りることができなくなり、電車で集団による移動をしたが苦勞した。【障害】
- \* 以前から活動に参加している人がいると、新規に来た人が活動に入りにくい雰囲気があるかもしれない。【子育て】
- \* 人件費に充てられる資金が増え、手伝える人が増え、常設で運営できると良い。【子育て】
- \* メンバーが高齢化し、年1、2人体調を崩して活動をやめる人がいる。また、高齢でも勤めに出る人が多くなった。【高齢】
- \* 定例会のメンバーが固定化していて出席人数が少ない（基本は各団体1名ずつ参加する必要がある）。また、定例会で男性の参加がない。【その他】
- \* 活動がまだ知られていないので、周知が課題。チラシを各施設に置いてもらいたいが、施設によって手続きやルールが異なっていて煩雑である。【子育て】



■気軽に団体活動へ参加してもらうための取組

問9 市民の方が貴団体の活動に気軽に参加できるよう、1回のみ活動に参加することは考えられますか。(単数回答)

「活動の内容によっては、1回のみ参加してもらうものがあるのも良い」が最も多く、単発の参加でも構わない意向がみられます。

活動の内容によっては、1回のみ参加してもらいたい内容として、防災訓練、サロン等イベントへの参加があがっています。また、常に1回のみでも参加してもらえると助かることは、イベントの手伝いや参加者との交流となっています。その他の回答では常に見学・参加を受け入れる団体があり、市民の方が参加できる機会を設けたいと考える団体が多くみられます。

選択肢と回答	件数
固定メンバーでの活動しか行えないため、そのような形は難しい	1件
活動の内容によっては、1回のみ参加してもらうものがあるのも良い ※例えばどのような内容（記述回答） <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業ボランティア、イベントの参加、手伝い（2件）【障害】</li> <li>・都合のつく時のみ参加してもらっている【子育て】</li> <li>・テーマを決めて一般向けに行うもの【高齢】</li> <li>・サロンの支援、ゴミ捨てや外出支援【高齢】</li> <li>・認知症カフェに対する支援【高齢】</li> <li>・防災訓練への参加、防災講習会等への参加（2件）【防災】</li> <li>・障がい者施設の方を招待するイベント等【その他】</li> <li>・ごみ拾い活動など【その他】</li> <li>・サロンへの参加【その他】</li> </ul>	14件
常に1回のみでの形でのよいので、参加してもらえると助かる ※例えばどのような内容（記述回答） <ul style="list-style-type: none"> <li>・美化【障害】</li> <li>・施設でのイベント時の手伝い、内職手伝い、居場所での会場設営や話し相手、お持ちの特技を活かしてもらう【障害】</li> <li>・一緒に子どもと遊んでもらう【子育て】</li> <li>・ご縁市への出店や企画・デイサービスでの交流【高齢】</li> </ul>	5件
その他（記述回答） <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害への理解を広める意識があれば参加いただきたい【障害】</li> <li>・常に見学・参加は自由に受け入れている（2件）【子育て】【高齢】</li> <li>・事業ごとに募集している場合や当日ボランティアなどの受け入れは可能【子育て】</li> <li>・（私たち会員はボランティア保険に加入しているが）1回のみ活動に参加していただき、何か起きたときに会として何も対処できないから難しい【高齢】</li> <li>・保護司の活動は秘匿事項が多く参加できにくい、後継者を見つけるため、参加させたい【その他】</li> </ul>	6件

(3) 地域の課題について

■地域住民から聞く地域の問題と、団体で対応できること

問 10 普段活動されている中で、地域の人々からどのような日常の困りごと、地域の問題などをお聞きしますか。(記述回答)

問 11 その中で、貴団体が対応できるものにはどんなことがあげられますか。(記述回答)

日常の困りごとや地域の問題は、子育てに関する切れ目のない支援、担い手の不足、などの「地域活動に関すること」、障害のある人の生活に関する相談体制、子育ての孤立化、などの「困りごとを抱えた人への支援に関すること」、障害のある人への理解、男性の子育てへの理解、などの「福祉への理解に関すること」、災害時の要配慮者対策、避難所の不足、などの「防災に関すること」への意見がみられます。

各団体が対応できることとしては、啓発の機会をもつこと、団体同士の連携を図ること、相談体制の充実などの意見がみられます。

・地域活動に関すること

区分	地域の問題	対応できるもの
子育て	個人的な相談などを聞くことが多く、その時々で対応をしている。	必要な時は、自治会や関係団体との連絡をとる。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切れ目のない支援の推進。</li> <li>・自立に向けての継続的な担当。</li> </ul>	集団守秘義務がかかった上での情報提供。
高齢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々に参加していただくのに交通の手段が不足している。</li> <li>・担い手の不足（後継者がいない）。</li> <li>・地域づくりの意識づくりに困難さ、難しさを感じる。</li> </ul>	地域ケア会議や研修会等を通じて、地域に対して啓発を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内連絡バスの使い勝手が悪い（バス停が遠いことや少ないこと、本数が少ない）。</li> <li>・高齢者の活動拠点（サロン、カフェ、ボランティア、体操等のつどいの場）の偏在化。</li> </ul>	活動拠点づくりの支援
	<p>情報が提供されてもなかなか高齢者の方には伝わらない。気楽に立ち寄り、直接情報が得られる窓口・場が近くにあるとよい。</p> <p>*外国人市民はゴミの分別に苦労しているかもしれない。</p> <p>*地区長が2年で変わることによって、防災活動への考え方が多少変わることがあり、地区との関わり方が難しくなっている。</p> <p>*ガイドブックで福祉サービスが紹介されていても、なかなか見る機会がなく、情報が行き届いていない可能性がある。</p>	交流会・サロンで毎回地域包括支援センターや地区社会福祉協議会の方をお招きしているが、更に強化し独り暮らしの方への支援を手伝う。

高齢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶話会の参加者が、高齢化してきており、減少傾向にあるため、友人と一緒に市民館まで来ることがだんだんと難しくなっている点など。</li> <li>・活動状況としては定着しており、各々まとまっているが、結構多忙な活動で準備が必要。小学校の訪問の事前には準備・リハーサルも行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティアとして、要望があれば、個人宅訪問（話し相手やごみ出しの手伝い等）は可能。</li> <li>・小学校等の「課外授業」の協力。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と活動する中で、地域のイベント等に参加する若者が少ない。特に祭礼等は子どもか高齢者がほとんど。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの企画、運営、補助</li> <li>・人材支援</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高齢者サロンが遠くて参加できない人がいる。</li> <li>②地域に困っている人がいるかどうか、何に困っているかわからない。</li> <li>③地域に住んでいる認知症の人にどう接したらいいかわからない。</li> <li>④子どもと高齢者が関わる機会が少ない。</li> <li>⑤ボランティアが高齢化しており、次の担い手がいない。</li> <li>⑥買い物に困っている高齢者がいる。</li> <li>⑦新しく地域に引っ越してきた人が、地域の中でつながりを持ちにくい。</li> <li>⑧30代～50代で引きこもっている人が心配だが、助けられる制度がない。等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高齢者が歩いていける範囲でサロン等の集まれる機会を設ける。（対応済）</li> <li>②困っていそうな人がどこにいるか把握する、地域の相談窓口を開く。（対応済）</li> <li>③認知症の正しい知識や対応の仕方を学ぶ。（対応済）</li> <li>④子どもと高齢者が関わる機会を設ける。（対応済）</li> <li>⑤～⑧ 今後対応方法を検討していく。</li> </ul>

・困りごとを抱えた人への支援に関すること

区分	地域の問題	対応できるもの
障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引きこもりの子どもを持った高齢の親から、自分が動けなくなったら後の心配や、障がいのある方や身寄りのない方の老後の心配。</li> <li>・精神障がいのグループホームが刈谷市内にない。</li> <li>・精神障がいの特性で症状に波があり、無理が効かないなどの理解がされず、怠けていて就労しないなど誤解される。</li> <li>・精神に障がいのある方がご近所の方へ迷惑（発作時の大声など）をかけていることが自身で辛い。また、そのため、ご近所からよく思われていないこと。</li> <li>・発達障がい、外見は健常者と一緒で大概のことは普通にできるが、不得意なことがあることへの理解が周囲や家族にもされ難いこと。</li> <li>・高齢者や障害のある人の出かけるときの交通手段が難しい。（費用と精神的な負担でタクシーを気軽に使えない。方向や行先が理解・伝達しづらい。歩行が不安定であり歩行できない。）</li> <li>*親がうつの場合の子どものケアの問題がある。（親に障がいがあると子どもが自責の念を感じる研究結果から。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障がいや疾患を知っていただく啓発。</li> <li>・話をじっくり伺い必要に応じて行政への相談窓口の紹介や他の支援団体への紹介。</li> <li>・当事者自身が体験をもとに相談に乗ったり、アドバイスをしたりなどのピアサポート支援。</li> </ul>

障害	<p>「助けてあげたくても、どのように知的障害の人に接して良いのか分からない」と聞く。災害時・緊急時などでの対応。</p> <p>*ヘルプマークをつけるか、つけないか悩んでいる人がいることから、特徴などを啓発したほうが良いのでは。</p> <p>*成年後見制度の利用を啓発しようとしているが、関連書類の記載が煩雑であること、管理をきちんとなしなといけないことから、親が制度を受け付けられない現状である。</p>	知的障害（主に自閉症・ダウン症）の特性・支援方法などわかりやすく伝えていく。
	<p>まだ支援につながっていない方の相談や情報、精神障がいをお持ちの方の生活の困りごとなど。</p>	関係機関の情報提供、連携など。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における対応で、障害のある人がいるご家庭がどうすれば良いのか、不安とのこと。</li> <li>・障害のある人が地域で生活するための住宅の確保が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談業務</li> <li>・地域課題を抽出し、市へ提言をいただくこと</li> </ul>
子育て	<p>特に引越してきた方などは、子育てに孤立しがちで、習い事等に人とつながるために入るケースも聞く。近所の人の顔が見えない。それが余計に子どもを1人で出しにくくなる。</p>	プレーパークに来て知りあったりして、相互に支援する機会をつくることはできるが、まだ回数が足りていない。
高齢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のみの世帯が増えている。非常時の意思決定や力のいる家事。いざという時に助けてくれる人がいない。</li> <li>・高齢者と同居している障害をもつ生活に支障がある人がいてその人への支援が届かない。</li> <li>・県外から働きに出て、独居、身寄りがいない人の地域からの孤立。</li> </ul>	高齢者を中心とした家族支援
	<p>外出先の少なさ。歩いていける範囲に、店、集う場、活動が少なく、自宅から出る機会を失っている。</p>	事業所の営業時間外や休日を使い、場の提供が可能。
その他	<p>地域の外国人の子ども対策。（小学校では困っている話を聞いたので。）</p>	OB や短日数勤務の社員を上手くシフトを組んでできないか。

・福祉への理解に関すること

区分	地域の問題	対応できるもの
障害	障害者スポーツの理解 *ボランティア活動について、自分がどう手助けして良いのか分からない人がいると思う。	ボッチャの紹介
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある人のことがわからない（=知らない）。</li> <li>・働き手が不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に参加してもらったりして、利用者様との触れ合いの機会をつくる。</li> <li>・障害のある人に就職や実習をしてもらい、人手不足の解消に役立つこと。</li> </ul>
子育て	*男性にも子育ての現場を知ってもらいたい（出産前後のお母さんの大変さ等）。	-
その他	保護司の仕事は地域では理解されにくい。	犯罪の予防活動で地域と連携する。

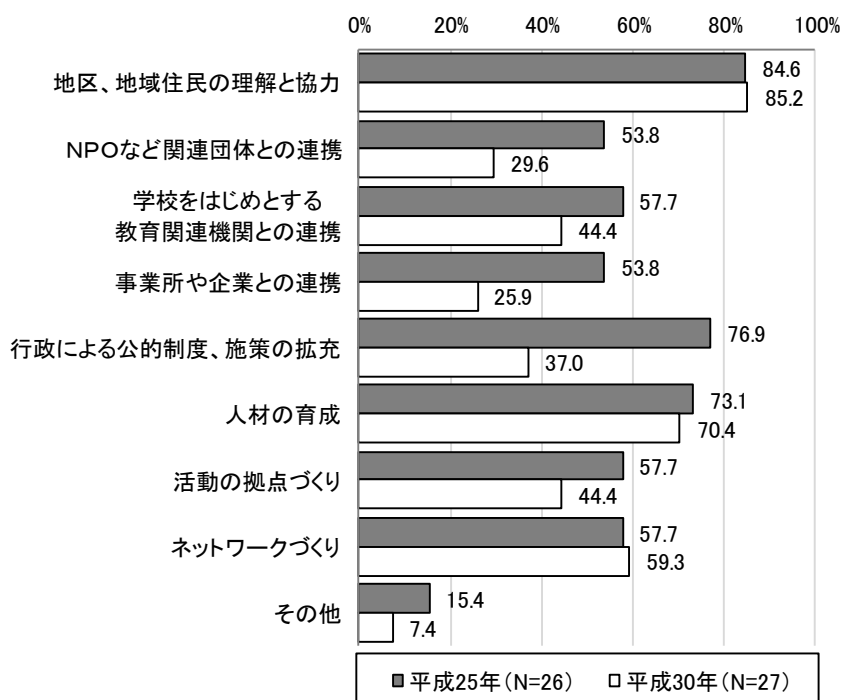
・防災に関すること

区分	地域の問題	対応できるもの
高齢	一人暮らしで色々な会合にも参加しない人（特に災害時等の対応の仕方）。 *一度役がつかってしまうと、いろんな役がつかってしまう。 *地域の防災組織とは連携しているが、次の担い手をどうするかが課題。	地域の防災組織との連携
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の要配慮者対策</li> <li>・避難所の不足</li> <li>・防災上備品の不足（ex. 段ボール、ベッド、etc.）</li> <li>・福祉避難所（マニュアル、防災訓練）</li> <li>・障害のある人の防災訓練、その支援センターの育成</li> <li>・人財バンクづくり（ヘルパー、ナースの会、OBの活用 etc.）</li> <li>・情報の非公開（ex. 民間の福祉避難所 etc.）</li> <li>・防災倉庫の活用の不便さ</li> </ul> <p>*異分野の団体との連携が必要。</p> <p>*身体障害のある人だけで防災訓練の打ち合わせを行っていて、職員や専門職の人が入っていない。</p>	-
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者で足や体の調子が悪く避難できない。</li> </ul>	日常的な付き合いの中で互いに助け合うようにつながりを持つ。

## ■地域福祉の推進のために必要なこと

### 問 12 地域福祉の推進のために必要なことは何だと思いますか。(複数回答)

地域福祉の推進のために必要なことは、「地区、地域住民の理解と協力」が最も多く、次いで「人材の育成」「ネットワークづくり」が続いています。平成 25 年と比べると、「NPO など関連団体との連携」「事業所や企業との連携」「行政による公的制度、施策の拡充」の割合が大きく減っています。



※平成 25 年は調査票を複数枚数提出した団体の回答を含む(調査対象団体は 20 団体)

#### ■その他の記載内容

- ・報道、マスコミ関係の協力【障害】

## (4) 今後の活動について

### ■市や社会福祉協議会に望むこと

#### 問 13 貴団体が活動をしていく上で市や社会福祉協議会に望むことはどのようなことですか。(複数回答)

団体が今後活動をしていく上で市や社会福祉協議会に望むことは、「活動上必要な情報の提供」「団体や活動についての PR」「経済的支援(活動資金など)」への意見が多く、情報面、資金面での支援を求めています。

選択肢	件数	選択肢	件数
活動上必要な情報の提供	15	設備・備品の充実	4
団体や活動についてのPR	13	団体運営上の助言	3
経済的支援（活動資金など）	9	成果の発表の場の提供	1
活動場所の提供	8	特にない	1
会員募集の支援	7	その他	5
リーダーの養成支援	7		

#### ※その他の回答

- ・連携強化のため「相談員」の育成や働く環境整備【障害】
- ・社会福祉協議会の活動の理解が薄い【障害】
- ・専門性の発揮【高齢】
- ・各地域での実際の活動、サロン立ち上げなど【高齢】
- ・自治会や民生委員・児童委員等へ事務的負担、会議出席等の負担を軽減する工夫【その他】

#### ■行政との協働で取り組めること

**問 14 今後、貴団体として行政との協働でどのようなことに取り組めると思われますか。（複数回答）**

行政との協働で取り組めることは、安心して過ごせる居場所の提供、災害時要支援者への具体的支援方策などの、「協働による取組の推進」、研修会の開催、福祉を学ぶための実習先を増やすなどの「福祉教育・啓発に関すること」、リーダーの育成、団体の会員募集、などの「人材育成に関すること」への意見がみられます。

#### ・協働による取組の推進

区分	意見
障害	引きこもりの方へ、居場所へ出かけることをまずは目標として、定期的に電話での声かけ交流を持つ。（1、2年の長期間が必要）
	障害児・者の自立支援に向けての施策に対して協力をしていく。
	精神障がいをお持ちの方が安心して地域で過ごせるように場所の提供や実際の支援など。
高齢	介護予防、生きがい活動、居場所づくり
	例えば地域内での活動拠点づくりの実質的な部分を行政とともに取り組めると推進力が生まれるし、制度の問題点を行政が把握しやすくなる。
	なごやか交流会・サロンの充実（対象者、回数面で）
防災	社会福祉協議会と自主防災会、地区との橋わたし・コーディネート活動はできるだろう。

防災	災害時要支援者への支援の具体的方策の検討。
	防災活動への援助と指導。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの災害情報に対して地区内での対応を組織的に実施できる。</li> <li>・市防災窓口（担当）と双方協力的に実施できる。</li> </ul>
その他	当会だけで対応できない地域課題については、市の制度や相談窓口の紹介及び課題解決に向けた新しい制度の検討をして欲しい。
	保護観察対象者への援助。

・福祉教育・啓発に関すること

区分	意見
障害	福祉教育
	精神障がいへの理解を深める研修会（病気、障がいの特性や接し方など）を企画から協力していただき、各分野の専門家を招き行う。
	現在の活動（小・中学校以外）の他への広がりを持たせる。
	実習先を増やすことを行政と連携。
子育て	子育て中の母親（親）のリフレッシュ、交流の場の提供、子育ての現状の理解を深めてもらう。
	刈谷における、子どもの権利啓発（子どもの権利条約・権利擁護・子どもの最善の利益等）、機関設立の助言など。
	継続的な支援の一端を担うこと、「エンパワメント」「当事者主体」などのキーワードがすべての支援者が大切にしてもらえるような講座。

・人材育成に関すること

区分	意見
高齢	地域ボランティア対象の「研修会」を開催。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーの養成</li> <li>・市全体の活動内容の共有化と展開</li> </ul>
	これから地域で活動する方の育成企画やワーキンググループなどできればと思う。
その他	ボランティアリーダーの育成。
	特殊なボランティア団体なので、活動情報・自団体のPRがむずかしく、広報誌などで取りあげて会員募集にむすびつけたい。



## ■地域福祉の推進に関する自由意見

### 問 15 貴団体の考える地域福祉のあり方や、地域福祉を推進するための具体的な取組・手段、ご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。(記述回答)

地域福祉の推進について、地域活動に関して、各種団体と連携しながら活動を充実させたい、小さい単位での共助の推進、などの「地域活動のあり方に関すること」、定年後の活動できる場の整備、地域をよりよくしたいと思う人の力は大きい、などの「地域活動の担い手に関すること」への意見がみられました。

そのほか、福祉実践教室の充実、広報紙への障害に関する啓発、などの「意識啓発に関すること」、顔の見えるつながりが必要、などの「地域のつながりに関すること」、市・社会福祉協議会と各団体の連携などの「市・社会福祉協議会への意見」がみられました。

#### ・地域活動のあり方に関すること

区分	意見
障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様をはじめとした障害のある人を地域が「個人」として認識できるような環境整備に貢献したい。(活動をもっとオープンにするなど)</li> <li>・子どもへの早期療育への取組。</li> </ul>
	<p>障害児・者の方が地域で生活する上で困難になっている課題を把握して、その解決のためにどうしていくかを、多くの団体と連携しながら進めていく一翼となれば良いと思っている。</p>
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知多市で取り組んでいるような「成長ファイル」の作成。</li> </ul> <p>子どもから大人に成長するまでに、自分に対してどんな支援があり、親の思い、自分の思いなど、目に見えたら素敵だと思う。どう運用してどんな効果があるのかは、まったく知らないので教えてほしいのと、その効果がこの「成長ファイル」を使わなくてもできる事業や施策を知りたい。</p>
高齢	<p>地域の行事に文化祭・地区防災会などには参加しているが、さらにサークルの活動の目標を見直し、個人や会としてのレベルアップを心がけていきたい。</p> <p>*気軽に来てほしい。高齢者の中には1日家にいる人もいるなか、行きたいという人をどのように連れてくるかが課題。メンバーが高齢化していくが、各研修に参加し、学んだことを持ち帰って活動に活かすようにしたい。</p>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さい単位の互助会活動、小さい単位の行政組織のあり方で行政地区の3地区は大きすぎるので細分化を。</li> <li>・住民への成果発表会、公開講座、出前教育の充実。</li> <li>・市民による企画講座の助成金・福祉サポーター養成、人づくり等。</li> <li>・健康管理リーダーの養成、人づくり等。</li> <li>・異業種交流、市民（搬送トリアージ）の啓発。</li> </ul> <p>*要支援者リストに支援者を2、3人つけるのが望ましい。</p>
	<p>老人会の活動への積極的参加。</p>

防災	福祉サービスの基本は、親子・兄弟・親族等が一番の協力者である。近年一番の協力者が協力できないことに対して行政がかかわっている。一度原点を見直し、協力者に対しての支援が必要。（現状では協力していない人を対象としている。）
その他	1. 地域への貢献（福祉施設への支援、地域のお祭り等） 2. 環境への取り組み 3. 青少年の育成を推進 ※この3つを主とした活動を心掛ける。
	生活困窮者の観察対象者への対応。

・地域活動の担い手に関すること

区分	意見
高齢	定年後に地域の活動に参加できる道筋をつくり、定年後も活動参加を継続することで、健康維持できる地域の人は自分の住むまちをよくしていこうという意欲をもってもらおう。
	なごやか交流会・サロンに参加してみえた方が入所され、顔をみかけなくなってしまう。高齢化が進む中、住み慣れた地域で、誰もが最後まで生活できるようになればと思う。（システムづくり）私たち会員の資質向上を図るのはもちろん、地域ボランティアとして少しでも地域福祉を支える力となることができたらと思う。福祉健康フェスティバルでは、ボランティアとしていきいきと活動する中学生をととても頼もしく感じた。将来につなげるために子どもたちの福祉意識の啓発・福祉教育の充実、大切だなと思った。 *福祉実践教室の継続により、子どもの頃から障害のある人や高齢者と交流する機会を得ることが大切。
	・現在やっている福祉連絡会を通じて、地域の福祉が少しでも良い方向になることを望む。 ・色々な団体での連携が大切。まとめる人材の育成が必要。 *子どもを地域活動の中になじませる方が良い。お祭りのお囃子の練習などで伝統文化の継承が必要。
	地域の方で、時間に余裕がある方、年齢に関係なく、生きがいを持って暮らしたいと思っている人が、様々な形で関わりあって、ちょっとした困りごとは近隣で解決できる関係づくり。「手伝ってほしい」「助けてほしい」と声が出せる地域であることが大切。 埼玉県での事例で「地域デビュー楽しみ隊」という子ども、シニア、女性が活躍している地域がある。
その他	私たちの活動には地区長の理解と協力が不可欠で、協力してくれる方々をいかに増やしていくことができるかが鍵となる。地域福祉を進めるうえで、その地域の住民であり、その地域により良くなってほしいという思いをもって活動をする人たちの意見はとても大切で、大きな力をもっている。だからこそ、その人たちが所属する地区社協や福祉委員会の中で話し合いを重ね、試行錯誤しながら活動を続けていくことが、誰もが安心して最後まで暮らせる地域の実現に繋がるはず。

・意識啓発に関すること

区分	意見
障害	<p>一人でも多くの方が、知的障害児・者への知識や支援方法などに興味を持ち、共に生き生きと過ごせる社会となつてほしい。 *より多くの会社で障害の理解に関する講座を見てほしい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の福祉実践教室に、精神の分野も取り入れていただく。また、教師・親にも一緒に知っていただくこと（行政管轄外ですが、高校・大学でも）。</li> <li>・地区社協の発足に伴い、より個別に必要な地域住民による関わりが出てくることとなり、充実していくには自治会の取り組みが大切。役員の任期が終わっても、役員経験者の活躍の場を。</li> <li>・3障害それぞれについて、気軽に電話ができて、迅速に対応していただける専門のスタッフにつながる機関の充実とその周知。</li> <li>・こころを元気にする料理教室の開催や、レシピの広報への掲載をしてほしい。</li> <li>・市の広報用のビデオに障害・福祉についても特集したものを作成したものがあればよい。</li> <li>・障害のある人と健常者が一緒にゲームやスポーツ、レクリエーションをすることで、交流や理解を深める機会になる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙や地域ニュースへの障がいについての記述。</li> <li>・事業所の活動発表の場。</li> <li>・学生への精神障がいへの啓発授業。</li> <li>・様々な所属、立場の人との交流、連携の場。</li> </ul>

・地域のつながりに関すること

区分	意見
子育て	<p>地域福祉を推進していくためには、顔と顔の見えるつながりが必要。異年齢の人たちとの交流のできる居場所づくりを考えていきたい。 *子どもの集まる時間と同時開催で高齢者のサロンが行われると良い。16時から17時の時間帯に大学生が勉強をみてくれるとありがたい。</p>
	<p>社会や周りの人々との関わりが希薄になりがちな乳幼児育児中の母親が、一歩外に出て社会へ子どもと一緒に再び関わっていくためのきっかけとしての活動、取組。</p>

・市・社会福祉協議会への意見

区分	意見
子育て	<p>「児童館」について、国のガイドラインにある「0～18歳までの子どもとその保護者」の施設となっているとはいいがたい。中高生が気軽に居場所としておとずれ、学校・家庭とはまた違った悩みを相談したりする機能が求められてくる。それには現在の保育・幼稚園の先生が児童館の職員になるというシステム自体の見直しが必要となる（指定管理制度など）。</p> <p>*子育て支援のネットワークには乳幼児だけでなく、青少年も含めると良い。児童館も小学校低学年まででなく、中学生も入れるようになると良い。気軽に入っていける年齢の切れ目のないプレーパークを。</p>
高齢	<p>活動に対しての補助金の充実と手続きの簡略化。 移動手段の充実。</p>
防災	<p>災害時、要支援者にいかに対応するかは、非常に大きな課題であるにもかかわらず、なかなか糸口が見つからない状況。要支援者には色々な方がおられるので、一防災会で検討するというのは困難。行政の福祉部内や社協が関わることで検討がしやすくなる、何らかの具体策を少しでも見つけ出せるのではないかと期待する。</p>